

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「あいあい」熊本新町校		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 15日 ～ 令和7年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35 (回答者数)	24
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 15日 ～ 令和7年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育により、一人ひとりに合わせた療育を提供している	アセスメントを取り、モニタリングを行い、日々の支援から本人に必要な支援を再確認し、さらに保護者様との会話から児童の成長の現状を見極めることで、本人に合った支援を調整し、提供している。 職員全員が日ごとに担当を交代しながら支援をすることで、本児の変化や成長をそれぞれが確認して、より良い支援を事業所全体で提供できる態勢を整えている。	更なる支援の質の向上のため、職員が集まって利用児の現状や得意不得意、必要な支援の案を話す会議などを増やす。
2	週2回年齢に分けて、2～4人の小集団療育を実施している	個別療育だけでは身につけることが難しいスキルを、年齢ごとに分けた小集団の中で養う機会を提供し、児童同士が関わる機会および経験を大切にしている。また、2～4人という少人数で関わる練習をすることで、複数児童がいる空間に慣れるスモールステップとしている。	小集団療育の希望者の増加に対して、機会を増やすことを検討する。 異年齢同士の交流の機会を設け、児童同士で模倣などを行う事により成長の促しを図る。
3	保護者支援の実施	支援中のご家庭に合わせて、母子同伴または分離を選択できるようにし、ご家庭のニーズに合わせている。支援後には支援中の様子を含めたフィードバックを行い、最近の児童の様子をうかがうことで、お悩みを引き出し改善の方法や緩和する方法をともに考えている。 事業所でお話することが難しい場合には、メッセージアプリを用いて、いつでも相談ができる状態にしている。	保護者同士でのお悩みの共有やお話をする機会を設けることで、不安感の緩和や新たな糸口を見つける場を提供する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスを行っていない	児童のご家族との関係を第一とするため、送迎という短い時間でもお互いが考えを伝え合うことができる空間の確保を考えて、当事業所では送迎を行っていない。	送迎が難しい日が出てきた場合の対応策をご家庭と共に考えていくこと。利用曜日や時間帯の調整、通所支援に関する情報提供や相談対応の充実を行う。
2	大人数の集団で必要なスキルや経験が積みにくい	当事業所では、指導員と児童の1対1を中心に療育を提供し、一人一人の特性やベースに合わせて支援を行う事を重視しているため。	複数の大人と同時に関わる機会を設け、さらに年齢の近い児童同士でのペア活動の機会を計画的に設定するなど、大人以外との関わりの場を提供できるようにする。また、地域資源の中で集団の場を体験できるような場所の情報、イベントの情報を紹介する。
3	療育時間の短さ	当事業所では、児童が集中力を保てる時間、または学校の授業に合わせた形でサービスの提供を行っているため。	不定期にはなるが、集団療育イベントの企画および実施の機会を増やしていくこと。 具体例としては、夏祭りイベント・お楽しみ会・クリスマス会に類する行事ごと。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「あいあい」熊本新町校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 37

回収数 24

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24				多動の子でも動けるスペースがあり先生の目が届くちょうど良い広さ。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24				一対一で落ち着いて行えています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1			いつでもキレイで清潔感があります。	朝礼後に清掃の時間を設けて、児童が来所する前に、掃除用具の片付けまで完了させています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1				児発管が立案した支援計画をもとに各職員が、ご利用児の特性に合わせた支援を作成し、提供させていただいています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23			1		当事業所のHPに記載された支援プログラムに合わせた支援内容を提供しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1				個別支援計画作成前にアセスメントを取り、モニタリングなどによりニーズや課題の把握を行った後に作成しています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1				個別支援計画（児童発達支援計画）には、各項目ごとにこどもの支援に必要な項目を選択し、支援目標と支援内容を設定しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	1				支援を行う職員は、個別支援計画（児童発達支援計画）を基にして支援の内容を作成し、提供しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1			季節などによって製作も変わり楽しんでいます。	各職員が支援を考えることで、支援に幅を持たせるとともに、前回の支援活動を確認してからプログラムの組み立てをしています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	3	2	5		事業所として、ご利用者以外の方も参加できるイベントを行い、児童館などへ周知活動を行っています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24				しっかりと細かく説明して頂きました。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	1		2		イベントとして、保護者会を行っています。また、日々の支援の振り返りにおいて、ご相談を受けた際には改善のためのご提案をさせていただくこともあります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	3				アセスメントを取らせていただき面談を行ったり、支援後の振り返りにおいてご相談内容に対して提案をさせていただいたりしています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	5	1	3	保護者会で専門家の方の講演があったらいいです。気軽に交流できる夏祭り（キッチンカーで買い物体験など）もあったらいいです。	保護者会のほか、ご利用者以外の方も参加可能なイベントを月1回の頻度で開催しております。ご意見いただいた内容に関しては、事業所予算などを含めて、熊本での事業が発展していく中で、検討していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	2				いつでも相談を受けることができるように事業所の公式LINEを作り、保護者様に周知とご登録をお願いしています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23			1		希望があるときには、個室や別室などでお話を聞ける環境を整えています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	2				ブログやInstagramを用いて、活動の様子を発信したり、イベントの告知を行ったりしています。自己評価に監視はHPおよび、事業所入口に掲示しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	4				ブログやInstagramに写真を使う際には、スタンプで顔を隠すなど個人情報へ、つながらないようにしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1		3		ご契約時に各種マニュアルを作成していることをお伝えするとともに、月ごとに設定された訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	3		4		月ごとに設定された訓練を行い、実施記録を作成してファイルに保管しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	2		1		安全計画を策定して、ご契約時にお伝えし、安全面を考慮して支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	3		3		保護者様に状況や経緯をお伝えさせていただき、事業所内では報告書を作成して職員全体に周知を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	2			あいあいに通うのをとても楽しみにしています。	ご利用児に楽しんでいただけるよう、支援内容の充実にも今後も務めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1			毎回の支援内容を圖に伝えるために、保護者が記録をとって書面にする方法しかないので簡単なものでいいので活動内容とフィードバックを書面ですべてと圖と共有しやすいです。	支援内容および、その時の児童の様子に関しては記録を作成しています。当日のお渡しは難しいため、次回ご利用時や月ごとにまとめてのお渡しであれば、対応可能です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「あいあい」熊本新町校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		通常時は、パーテーションで仕切り構造化したスペースを確保し、利用者の多い時間帯は2階スペースなども活用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		小集団やベア活動については職員同士で話し合っ て決定し、児童の情緒が乱れたときには別室に移 動してもらうなどの対処をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		支援室はそれぞれパーテーションで区切って構造化し、飛び出し防止のための柵を新しいものへ変更している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	毎朝朝礼後に清爽を行う時間を設けている。	業務の関係で頻度が減ってしまう場合がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個別の部屋を準備して、2階などもあり気持ち が崩れたときにクールダウンする場がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		朝礼などで周知している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	事業所評価を年1回実施している。	今後も継続して年1回実施する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		朝礼の時に意見の交換を行い、またその他の空 いている時間でも意見の交換をしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	実施していない。	第3社による外部評価の検討
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		社内研修が実施されていて、職員に通知がさ れている。研修日が近くなってきたときには再 度日時を伝えて参加を促している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		HP上で支援プログラムの公表がされている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		会社独自のアセスメント、専門職用のアセス メントを行い、これをもとに個別支援計画を作 成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		アセスメントをもとに職員で情報共有を行 い、それぞれの意見や考えを集め、児童発達 支援管理責任者が作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画を確認して支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		会社独自のアセスメントや参考書、専門職用 のアセスメントをもとに確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		5領域を分けて個別支援計画を作成し、参考書 なども用いて必要な項目を適切に設定してい る。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		小集団やベア活動では、支援を行い職員が話し 合っ てプログラムを作り、個別のプログラムにお いても意見の交換を行う場面がある。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		過去の支援記録を遡り、固定化しないように活動プログラムを調整している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		メインは個別支援だが、未就学児童は年齢は年齢に合わせた小集団活動の機会を作り、ペア活動も行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	主に小集団活動で役割分担を確認している。	話し合いができずに、一人の職員が考えた内容を周りに共有する場合もあるため、話し合いを行うようにする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		公休の職員にも後日、情報共有を行い、全体で把握できるように努めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		その日のうちに記録を記入するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6カ月に1回以上行うようにし、退所時にも実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児発管が中心となって参加しているが、場合によっては指導員が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		移行支援シートに記入している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		移行支援シートに記入している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	保護者様のご希望に合わせて、園を訪問したり、移行支援シートへ記入したりしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	6	1	研修の機会があれば受けるようにしている。	支援時間と重なってしまうことが多いため、時間の調整をして参加できるようにしていく。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	イベントを実施して、その情報をチラシを配布するなどしている。	外部の方の参加は少なく、あったとしても仮契約をいただいている方が多いため、継続した情報の発信を続ける。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		フィードバック時に情報をお伝えしたり、メッセージアプリを使って情報の交換をしたりしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		イベントとして実施している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		重要事項説明書を用いて説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		アセスメントやモニタリングの際にお話をうかがっている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		紙で内容を印刷し、保護者様と内容を確認した後、サインをいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		フィードバック時に最近のご様子をお伺いするようにして、相談に対して応じるようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		保護者会の実施をしている。また、イベントではご兄弟の参加もできることを案内している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		電話のほか、メッセージアプリも使用して迅速に対応するように心がけている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	ブログは月2回以上、Instagramも高頻度で発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		鍵付きのキャビネットへ保管して、個人情報が漏れないよう、ブログの写真などにも加工をしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		丁寧な対応を心掛け、必要であれば返答内容について職員内で話し合いを行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	イベントの告知は、地域の児童館や役所に対しても案内をしている。	外部の方の参加は少なく、あったとしても仮契約をいただいている方が多いため、継続した情報の発信を続ける。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルを策定し、重要事項説明書と共にご家族へは説明を行い、職員には研修などにより訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		策定を行い、避難訓練の実施をしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時に確認を行っている。また、イベントの際には、アレルギーの確認をしてお渡しをする。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	現状実施していない。	必要な児童が出た場合に実施していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		策定して、研修や訓練、そのほか必要な措置を講じるようにしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		契約時に説明を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		事業所内および社内で回覧と共有をしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修の機会を設けて、適切な対応をしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		社内において身体拘束によるマニュアルを策定して、保護者様には身体拘束に関する同意書をいただいている。	